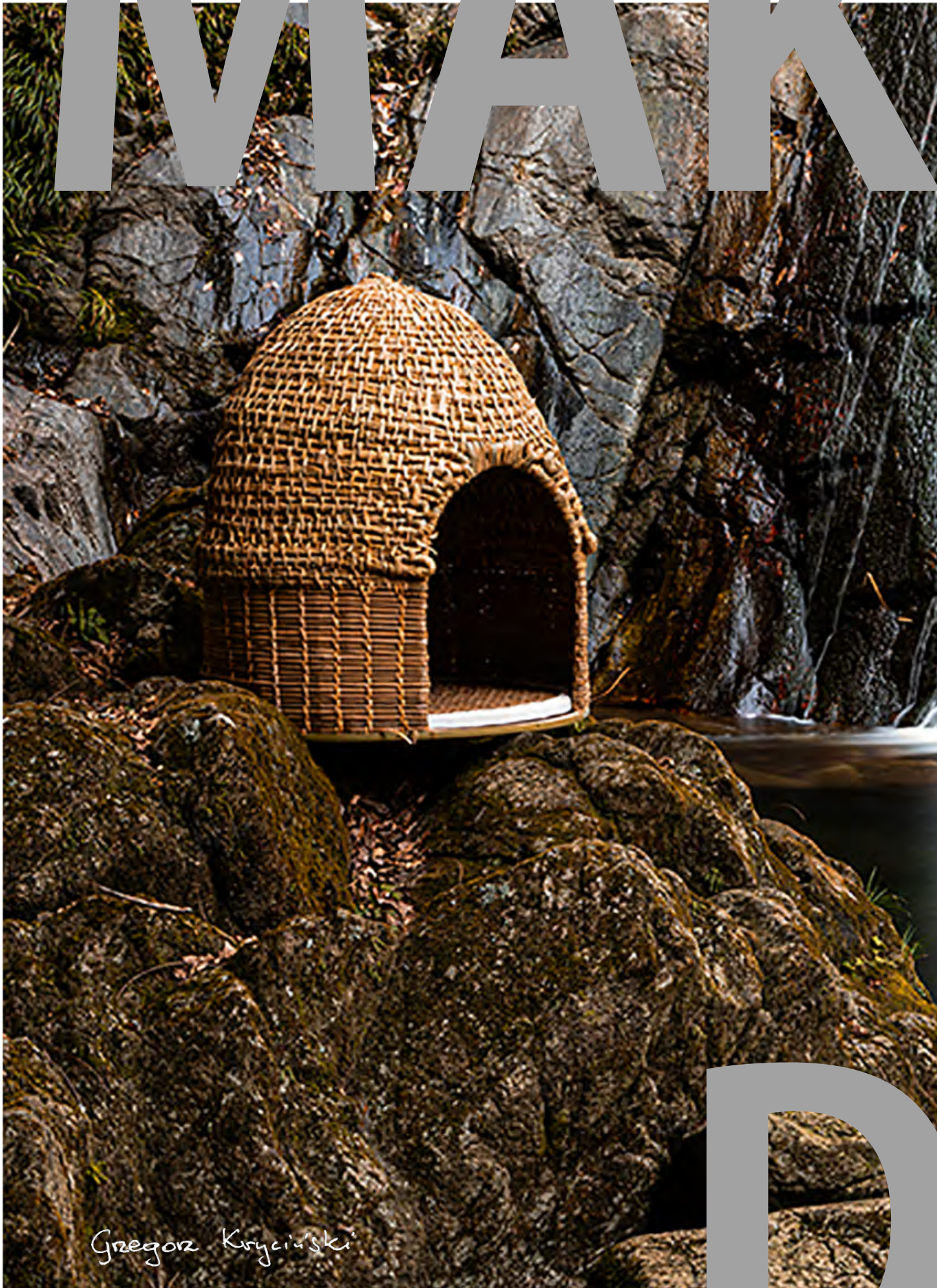


MAAK



*Gregorz Kryciński*

2021 FEBRURY

D





マコモは用途が狭く使う頻度が少なく。  
使わないと毎年仕入れることが出来なくなり  
素材は消える可能性があります。







茶室の天井・神社などのお供えするときの  
敷物などで、たまにしか使いません。









私たちの手の中にある技を紡ぐ事で新しいカタチ  
新しい未来に紡ぐ

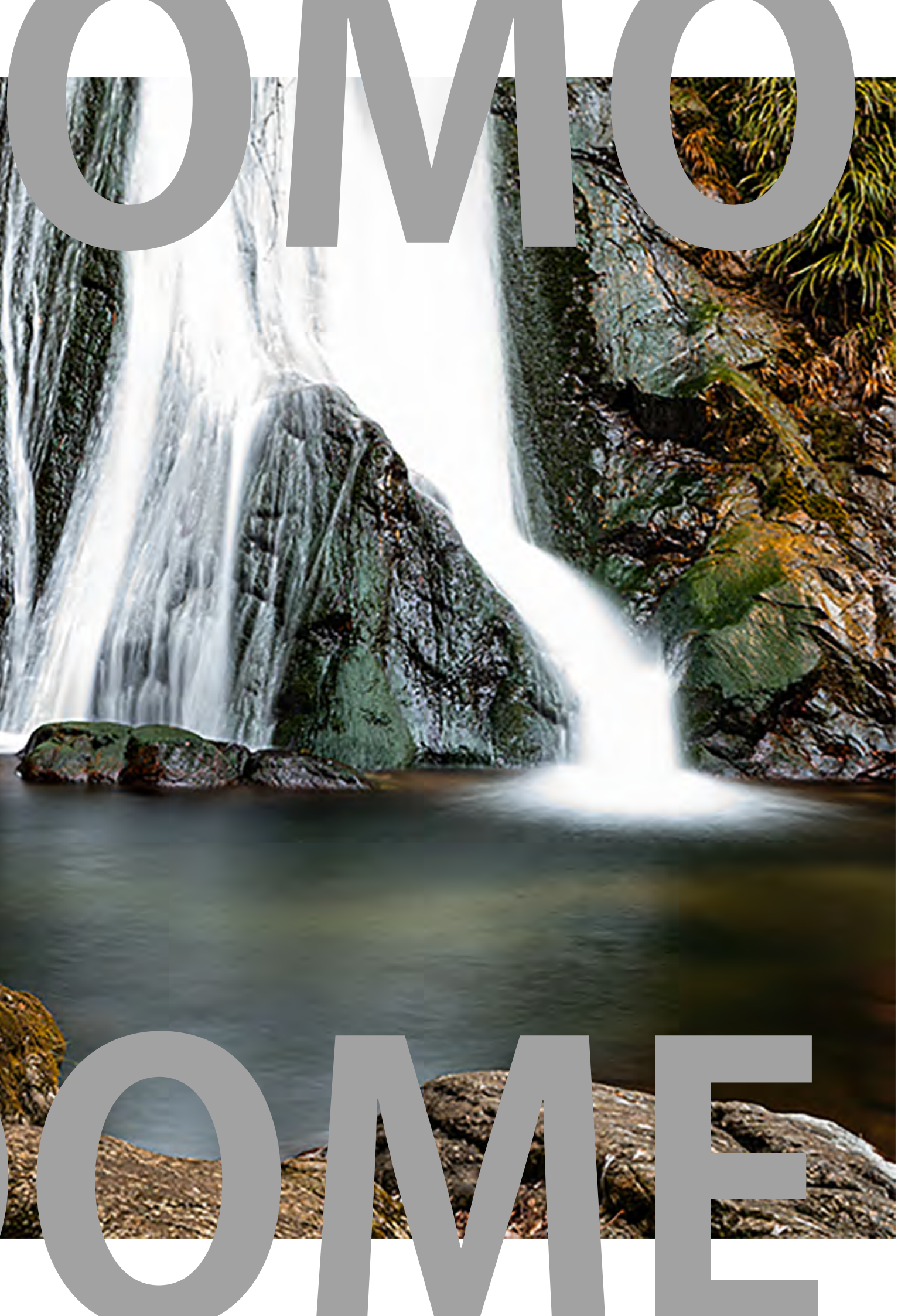
すだれやが作る新しいカタチ・新しい未来  
おうちのような  
心落ち着く空間











OMO

OME